

患者の皆様へ

2021年11月8日

救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、集中治療室における緩和ケアの積極的な導入に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2021年1月1日～2023年12月31日にICUに緊急入室し1週間以上滞在される重症患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「緩和ケアニーズスクリーニング導入前後におけるICU患者の臨床経過及びスタッフの困難感に関する前後方視的コホート研究」

2. 研究の意義・目的

「予期せず集中治療室での治療を要する重症患者の治療において積極的に緩和ケアを導入することの有効性を検討する」

3. 研究の方法

令和年1月1日から令和6年12月31日の間において、診療録に記載されている身長、体重、病歴、ICU入室時所見、人工呼吸器期間、腎補助実施期間、循環補助デバイス実施期間、緩和ケア専門チーム介入の有無、ICU入室期間を抽出し、緩和ケアニーズスクリーニングシート導入前後における変化を観察する。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院救急科・集中治療部

医師 菅なつみ

043(222)7171 内線6365